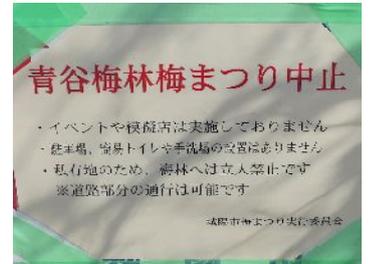


ハイキング部だより

第217回

令和4年(2022年)3月6日(日)～ 城陽の青谷梅林



コース:山城青谷駅～中天満神社～龍福寺～青谷梅林～
山城青谷駅(約5キロ)

参加者 18名

3月6日(日)第217回ハイキング実施。天候晴、参加者18名。10時JR奈良線「山城青谷駅」スタート約20分歩いて中天満神社へ、創建は不明ですが祭神はもちろん菅原道真です。少し休憩してすぐ近くの龍福寺へ、ここは浄土宗の寺で創建は1674年、片腕を頬に当てた姿の地蔵菩薩が歯痛を表しているように見えて「歯痛地蔵尊」と言われています。また少し歩いてふれあい農園のところを右手にとると梅林が目に入ってきました。青谷梅林は東京ドーム約4個分と言われる広大な土地に約1万本の梅の木が植えられています。しかし、残念ながら梅はほとんど咲いていませんでした。今年はコロナで「梅まつり」は中止です。本来ならここでゆっくりするところですがが中に入れないので少し離れたところの梅林へ場所を移しここで昼食にしました。この梅林は満開に近い木もあったのでそれをバックにして写真を撮りました。このあと「山城青谷駅」に帰って近くの梅林に寄るとこの梅はほぼ満開でした。ここで少し休憩して2時過ぎの電車に乗って帰途につきました。

このコースは第90回(平成23年2月27日)に山城青谷駅の1つ京都寄りの長池駅に集合して且椋(あさくら)神社から青谷梅林へ、そして市辺天満神社から山城青谷駅へと歩いています。参加者は石田、金井、岸本(2人)、黒原、佐々木(2人)、庄司、銭本、谷、西田(2人)、土生、原田巖(2人)、藤原辯(2人)、棕(2人)、森元(2人)、島田、豊田(2人)、早内、舛添の皆さん計25名でした。



青谷梅林に於いて



山城青谷駅近くの梅林に於いて



JR奈良線「山城青谷駅」



青谷コミュニティセンター



そろそろ出発です



青谷梅林へ向けて出発



青谷梅林への道中



青谷梅林への道中



青谷梅林への道中



中天満神社



中天満神社



中天満神社からの京田辺方面



中天満神社に於いて



齒痛地藏尊のある龍福寺



龍福寺に於いて



青谷梅林の開花遅し



青谷梅林で昼食場所探し



お湯を沸かし味噌汁の準備



青谷梅林での昼食風景



青谷梅林に於いて



青谷梅林を後に



青谷梅林を後に



ふれあいのうえん



ふれあいのうえん



青谷駅近くの梅林で



青谷駅近くの梅林で



山城青谷駅へ向けて



城陽酒造



山城青谷駅で解散

第217回ハイキングは下記の計画で実施しました

～ 城陽の青谷梅林 ～

日 時:令和4年3月6日(日) 10時JR奈良線「山城青谷駅」集合

コース:山城青谷駅～中天満神社～龍福寺～青谷梅林～
山城青谷駅(約5キロ)

青谷梅林は面積20ヘクタールで東京ドーム約4個分、その広大な土地に約1万本の梅の木が植えられています。鎌倉時代の歌にも詠まれているところから鎌倉時代からすでに存在していたとも言われています。中天満神社は周囲に古墳群があり、このあたりは古代から人々が住んでいたと言われています。創建時期は不明、祭神は菅原道真。

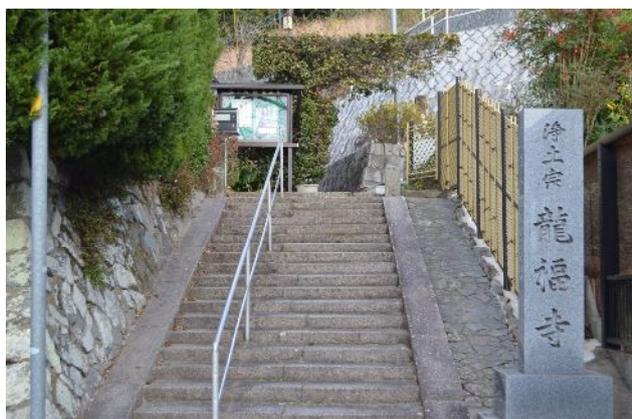
龍福寺は浄土宗のお寺、本尊は東大寺から譲られた阿弥陀如来像、創建は延宝2年(1674年)片腕を頬に当てた姿の地蔵菩薩像があつて、それが歯痛を表している姿に見えて「歯痛地蔵尊」と言われているとのこと。青谷梅林は、第90回(平成23年2月27日)に今回と違うコースで一度訪れています。



青谷梅林



中天満神社



龍福寺



龍福寺の地蔵菩薩像